

中岳



2006 歯の祭典
歯科医師会館入居祝賀懇親ビアパーティー



目 次

巻頭言.....	清村 正弥専務理事	1
第6回2006歯の祭典.....		2
上通りイベント集計結果.....		5
よい歯のピエロショー.....		9
平成18年度 熊本市歯科医師会学術講演会.....		10
三歯会.....		13
スタッフ研修セミナー.....		14
第27回学校保健会総会、合同研修会.....		19
国立病院機構熊本医療センター・熊本市歯科医師会との協議会.....		20
第4回地域歯科保健研修会.....		21
Study ー鑄造コアとレジンコアー.....	小野 秀樹	23
歯科医師会館入居祝賀懇親ビアパーティー.....		26
委員会紹介		
社保委員会.....		28
学校歯科委員会.....		31
新会館のご案内.....		35
新入会員紹介.....		36
スポーツの広場.....		38
会務報告.....		39
編集後記		

表紙のことば：

夏の盛り、仲間と酌み交わす一杯のビール。日々の
悩みや疲れをひとときの間忘れさせる「命の水」と
言っては言い過ぎでしょうか。 (M・A)

巻 頭 言

全面禁煙

覚悟を決めよ！



清村 正弥 専務理事

私は前期同様、本会の常務理事としてあと3年、ご奉公するつもりでいたのですが、前任専務の矢毛石理事御退任を受け、年度中途からではありますが、その後任を拝命いたしました。若輩であり経験もなく甚だ不安なのですが、一生懸命職務に励む気持ちを欠かさずに、皆様にご迷惑をかけぬよう会務執行をいたすつもりです。どうぞよろしくお願いします。

巻頭言を書け、とのことで、新会館完成を見た後の「中岳」であることから、会館の全面禁煙について記します。

日本歯科医師会のホームページを見ますと、表紙のトップページ左側に、目次に相当するリンクボタンが10個設定してあります。本で言うなら日歯のホームページは10章立てということになります。第1章は日歯会長挨拶、2章が日歯の事業・活動紹介、3章がシンポジウム紹介、4章に8020運動、そして第5章には禁煙宣言が用意されています。(6章以下は略)

その第5章・禁煙宣言のページを見ますと、平成17年5月31日付「日本歯科医師会禁煙宣言」が掲載されており、その結語は「日歯会は、国民の口腔および全身の健康とより良い歯科治療を確保するため、喫煙対策が重要な課題であることを認識し、以下に掲げる行動規範を推奨することにより、積極的に喫煙対策を推進することを宣言する。」となっています。

第5章後半にある「行動規範」には、次の7項目が掲げられています。

- ・喫煙対策を推進する保健医療専門職の模範としての役割を担う。
- ・喫煙対策に関する調査とその評価を行い対応する。
- ・施設ならびに行事を禁煙化し、健康に関連する行事に喫煙対策を含める。
- ・日常的に喫煙の状況を尋ね、禁煙の助言と支援を行う。
- ・歯科専門職の教育研修プログラムに喫煙対策を含める。
- ・5月31日の世界禁煙デーの活動に積極的に参加する。
- ・喫煙対策活動のネットワークに参加する。

さて、この7項目を本会が実行するとき、会館の敷地内が全面禁煙でないどころか、屋外とはいうものの会館内に喫煙場所と灰皿が設置してあり、会員の中に喫煙者が少なからず存在する状況を、どのように判断するべきでしょうか。日歯会が取り組む事業や行事に、都道府県歯会や都市歯会も協力するのは当然である、というよく使われる前提は、殊この話には適合していないようです。本会は、どこまで本気で禁煙に取り組むべきでしょうか。

私は、やるなら徹底的に行い、歯科医師会の心意気を世間に示すべきだと考えます。当然、会員は飲み屋でも吸わない。その上で患者さんにも禁煙を勧める(タバコを吸わない患者さんには、主治医の身体や呼吸の煙の臭いはすぐにわかるものです)。喫煙派の会員はこれを機会に自ら禁煙外来を受診すれば良いのです。その経験を自らの医院の患者さんにも伝えて差し上げれば感謝されます。

何もそこまでしなくても、という意見が喫煙者から出ることは容易に想像が付きまします。しかし表向きの形だけ禁煙、一歩裏に回ればそれはウソ、というのでは市民の信用を得ることなど、到底できません。

禁煙を広める運動を本気でやっていることを世の中に示すことが、地に落ちた歯科界の信用を取り戻すことにもつながる、そう私は考えます。しかし、それには会員全員が覚悟を決めなければなりません。徹底できなければ、かえって逆効果になります。そこまでやる気がないのなら、大見得切った「禁煙宣言」など早く撤回した方が良いでしょう。

笑顔を みがこう！

初夏を想わせる日差しが降り注ぐ6月4日(日)、恒例となった「2006歯の祭典」が今年のテーマ「笑顔をみがこう」と題し熊本市上通りアーケードにて行われた。

これは歯の衛生に関する正しい知識の普及を図り、歯科疾患の早期発見・早期治療、予防処置の励行を徹底することにより歯の寿命を延ばし、市民の健康保持増進に寄与することを目的として行われている。

熊本県歯科衛生士会熊本市支部および熊本市歯科技工士会の共催を得て、熊本市歯科医師会が主催したものである。

まず午前10時半過ぎより、城東保育園園児による演技に引き続き、古賀 明熊本市歯科医師会会長により開会の挨拶が行われた。また来賓祝辞の後、テープカットにより「歯の祭典」が開始された。



第6回 2006

平成18年

通町(電車通り)

総合受付

歯の何でも相談

矯正相談

小児歯科相談



歯の祭典

歯の衛生週間

歯科技工士会

口臭測定

歯科衛生士会

口腔介護コーナー

歯科衛生士専門学院

8020推進員コーナー

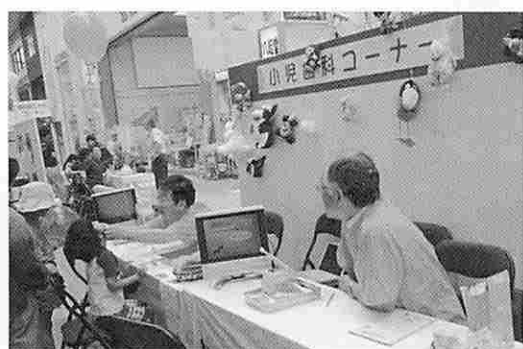
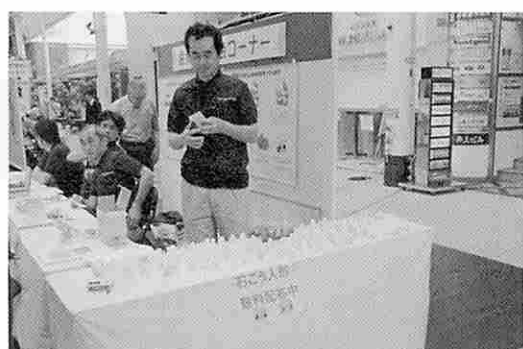
総合受付



各相談コーナーでは街ゆく市民から様々な相談を受け大盛況となった。前年に引き続き今回もスタンプラリーが行われ、市民に喜ばれていた。ちなみに今回企画されたコーナーは、歯の何でも相談コーナー、矯正相談コーナー、小児歯科コーナーをはじめ、歯科衛生士会コーナー、口腔介護コーナー、歯科技工士会コーナー、熊本歯科衛生士専門学院コーナーおよび今年新たに設けられた8020推進員コーナーなどが並び、口臭検知器コーナーも例年通り多くの市民が興味深く参加していた。

今回の集計では各コーナーを合わせた延べ人数3021人で、昨年よりも増加し、市民の関心の高さがうかがえた。

(公衆衛生 山部耕一郎)



平成18年度 歯の衛生週間 上通イベント実施結果

◇上通を通過した人数

【電車通り側】

時 間	人 数
11:00～12:00	1,405名
12:00～13:00	1,824名
13:00～14:00	2,243名
14:00～15:00	2,234名
15:00～16:00	2,225名
合 計	9,931名

【並木坂側】

時 間	人 数
11:00～12:00	1,388名
12:00～13:00	1,817名
13:00～14:00	2,247名
14:00～15:00	2,339名
15:00～16:00	2,432名
合 計	10,223名

上通りを通過した人がどれだけの割合でこのイベントに参加されたかを調べました。

$3,021 / 20,154 \div 15\%$ 約15%の人がこのイベントに参加されました。

初めての試みですので、正確なコメントは出ませんが、1日中忙しかったのは確かです。

来年からは、12:00～17:00に行った方がまだ人は集まるのではないかと思います。

1. スタンプラリー参加者 (1,183名)

昨年の人数は、753名でした。実施要項は昨年と同様で、各ブースで2個のスタンプを押してきてもらう形式でした。今年は、協賛企業が増え、プレゼントの量が増えたこともあるのか、参加者数が増えました。

2. 歯の何でも相談コーナー (98名)

(口腔外科相談コーナー含む)

相談内容	年 齢 別 内 訳									
	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	合計
1. 歯周疾患			3	4	7	3	1	3		21
2. 色調異常			4	1	2		2			9
3. 歯列咬合	5	1		1	1					8
4. 顎関節症			3		2					5
5. 義歯						1	3	3		7
6. 矯正	1	1	1	1						4
7. 智歯			2	2	1					5
8. 口臭			1							1
9. ブラッシング指導		2	1				1	2		6
10. 抜歯								2		2
11. むし歯		4							2	6
12. 補綴物							3	1		4
13. インプラント						1		1		2
14. キシリトール										0
15. その他		1	1	2		7	3	4		18
合 計	6	9	16	11	13	12	13	16	2	98

※口腔外科コーナーは、0名でした。

昨年の人数は、97名で、本年の人数と大差ありませんでした。相談内容は、昨年が比較的むし歯の相談があったのに比較して本年は歯周病についての相談を受ける人が目立ちました。

3. 矯正相談コーナー（28名）

相談内容 \ 年齢	年 齢 別 内 訳									
	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	合計
1. 上顎前突	2	2	1							5
2. 叢生	4	2	1	2	1			1		11
3. 下顎前突		1		1						2
4. 開咬										0
5. 交叉咬合										0
6. その他	5	1	1	1		2				10
合 計	11	6	3	4	1	2	0	1	0	28

4. 小児歯科コーナー（80名）

相談内容 \ 年齢	1歳未満	1～2歳	2～3歳	3～4歳	4～5歳	5～6歳	6～7歳	7～8歳	8～9歳	9～10歳	10歳以上	合計
1. う蝕		1	6	7	5	2	3	2	1			27
2. フッ素			1		1	1						3
3. 萌出時期		1						2				3
4. 歯列咬合	1	1	1	1	2	3	1	4	1	3	1	19
5. 悪習慣					1	2						3
6. 色調異常												0
7. 歯磨き方法	3		2	1	1	1	1					9
8. その他		1	2	1		1	2		2			9
9. 不明	1		3	1	1					1		7
合 計	5	4	15	11	11	10	7	8	4	4	1	80

※その他（検診）・不明（本人以外の相談）

5. 歯科衛生士会コーナー（299名）

年齢 指導内容	年 齢 別 内 訳									
	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	合計
1. 位相差顕微鏡	11	4	7	7	3	6	7	3		48
2. 唾液PHテスト	34	26	26	34	18	16	17	16	2	189
3. 相談・指導	8	7	7	15	7	5	7	5	1	62
合 計	53	37	40	56	28	27	31	24	3	299

※その他（インプラント、シーラント、唾液）

年齢 性別	年 齢 別 内 訳									
	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	合計
1. 男性	23	8	3	13	7	3	7	5	1	70
2. 女性	30	29	37	43	21	24	24	19	2	229
合 計	53	37	40	56	28	27	31	24	3	299

6. 口腔介護コーナー（79名）

年齢 指導内容	年 齢 別 内 訳									
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	不 明	合計
1. 相談・指導等			4	18	10	18	13	16		79
合 計	0	0	4	18	10	18	13	16	0	79

※その他（インプラント、シーラント、唾液）

年齢 性別	年 齢 別 内 訳									
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	不 明	合計
1. 男性			1	3	2	4	2	8		20
2. 女性			3	15	8	14	11	8		59
合 計	0	0	4	18	10	18	13	16	0	79

7. 口臭検知器コーナー（190名）

昨年より検査者が約70名も増え、口臭に関する関心の高さが伺えました。

8. 歯科技工士会コーナー（450名） 石膏模型配布

相談者 25名（金属の種類、義歯、インプラント等）

9. 熊本歯科衛生士専門学院コーナー（51名）

- ・ 歯科衛生士についての質問
- ・ 歯科衛生士専門学校について（受験、学校の内容、教育課程）

10. 8020推進員コーナー（563名）

アンケート数

性別 \ 年齢	年 齢 別 内 訳									
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	不 明	合計
1. 男性	21	15	26	11	11	8	9	3	9	113
2. 女性	93	69	77	51	34	31	25	3	20	403
3. 不明	1	1		6	2	1	4	1	31	47
合 計	115	85	103	68	47	40	38	7	60	563

- ・ 初めての参加であったが、8020推進員の地域活動の視点から専門集団とは違うアピールができたと思う。
- ・ 地域活動と歯科関係機関・団体が協働することで、新しい切り口の市民啓発活動の可能性が示唆された。
- ・ 次年度も一層の活動紹介を充実し、より多くの市民を巻き込んだ地域歯科保健活動を推進していきたい。
- ・ 場所もよかった。
- ・ 年齢が高く、地域活動に慣れていたことも幸いだった。

（担当者：8020推進員及び中央保健福祉センター）

過去最高の来場者 よい歯のピエロショー



6月3日（土）毎年恒例の「よい歯のピエロショー」が熊本市子ども文化会館において開催されました。このショーは午前と午後の2度行われ、375名の参加者がありました。これと同時に公衆衛生委員会7名による無料歯科相談を実施しました。このイベントは熊本市が主催するものでわれわれが協力するという形をとっています。また無料歯科相談に合わせて各保健福祉センターの歯科衛生士の方々が位相差顕微鏡を使い口腔内細菌をみせてあげたり、ブラッシング指導、フッ素塗布を行ったりと盛りだくさんの内容でして、8020推進員の方々にも来ていただき、受付等をしていただきました。結果今

年は過去最高の362名の来場者がありました。

従来、ほとんど子ども対象の相談が多いのですが、今年は子どもにあわせてご両親の方々の相談も多く、そのため過去最高の来場者となったとおもわれます。相談内容としては、むし菌、矯正、以外にも歯周病、顎関節症さらには口臭と多岐にわたりました。

来場者の方々には日頃疑問に思われている歯科に関する問題に対し、ご理解を深めることができたと思いますし、お口のケアの重要性も認識していただけたと思っています。今後もより充実した内容にし、継続していきたいと思ひます。



（公衆衛生 村上 慶）

明日からできるバイオメカニクスを考察した咬合治療

平成18年度 熊本市歯科医師会学術講演会

6月24日（土）、新熊本県歯科医師会館において、熊本市歯科医師会主催の平成18年度第1回学術講演会が開催されました。会場の新歯科医師会館は、この6月に新築され、熊本市歯科医師会のこけら落としとして、今回の講演会が企画されました。

講師は、熊本市会員の添島正和先生で、「明日からできるバイオメカニクスを考慮した咬合治療」という演題で、講演されました。

講演内容についてですが、日常臨床において、補綴物の脱離や破損の頻度は、決して少なくない。特に、治療後短期間でのトラブルは、患者さんの医療機関に対する信頼を失い、最悪な場合、医療訴訟に発展することもある。歯科医師として、その原因を詳細に分析し、適切かつスピーディーに対応する能力が求められる。また、その原因としては技工サイドに起因するトラブルを除けば、咬合が関与しているケースが多いと思われる。それ故、最適な咬合環境を整えることが、長期的に良好な予後につながる。この予後を良好に推移させる条件に関して、質疑応答も含めて約2時間行われました。ちなみに、紹介されたケースの中で、20年ほど前からのスライドやレントゲン写真があり、改めて資料収集の大切さを痛感させられました。

講演の要旨を以下に説明します。



現在の歯科治療において、補綴やカリエス治療は非常に多く、その結果トラブルも多い。患者は中でも補綴物の脱離を最も嫌うと思われます。

以下に、歯科修復物の平均生存期間と再治療率を示します。（北大調べ）

日常臨床の参考としてください。

症例の長期経過後のトラブルは大別して、以下のように考えられます。

- ① 2次う蝕
- ② 歯周病の悪化
- ③ 力の関与

これらのトラブルが起こる前に、日常臨床においても十分な診査、診断が必要になります。その為にはまず臨床記録の採取と、綿密な治療計画の立案が必要となってきます。スタディー

モデル、各種レントゲン写真、口腔内写真はもちろんのこと、最近ではカリエスリスクテストやオクルーザー等も利用できます。これらの記録の保存、検討が正確な診断につながり、また、自身の診断力の向上につながるの言うまでもありません。

材 料 種	平均生存期間（年）	再治療率（％）
コンボジットレジン	9.42	35.3
メタルインレー	10.04	29.3
4 / 5 冠	9.00	35.7
メタルクラウン	8.96	37.0
硬質レジンジャケット冠	9.21	41.7
硬質レジン前装冠	6.62	59.3
メタルブリッジ	7.04	60.6
平 均	8.87	40.8

今回の症例の中でも、20年程前の記録も提示していただきましたが、これらの中でも特に③の、力の関与に関するトラブルについて詳しく解説されました。

1. 鉤歯への負担

バイオメカニクスの観点から見ると、われわれが日常臨床において欠損補綴で選択するブリッジという補綴設計そのものは、支台歯に対する負担過重が避けられないということを強く認識しておく必要がある。一方、パーシャルデンチャーの場合、遊離端欠損における鉤歯に対する負担過重のリスクはさらに増加することになる。そのうえ、支台歯の状況（有髄歯か無髄歯か：経験上圧倒的に有髄歯有利とのこと、歯冠・歯根比、歯根の表面積、アタッチメントロスの程度）や対合歯との咬合状態（確実なバーティカルストップとアンテリアガイダンスの確立が重要）、咬合のパターン（犬歯誘導、グループファンクション、フルバランス）、欠損歯数、左右不均等な咬合接触などの条件が複雑に絡み合って、リスクは加速度的に増大するので、より慎重な対応が要求される。

2. 長期的維持のための補綴設計のポイント

- ①ヘミセクションやルートアンブレーションした歯をブリッジの支台歯としては基本的に使用しない。
- ②延長ブリッジは可及的に行わない
- ③常に左右均等咬合接触を心がける(shortened dental archは行わず、できれば全顎の補綴をめざす)
- ④総合的な咬合診断を術前に行い、中心位と咬頭嵌合位のずれと、早期接触を確認しておく。
- ⑤クロスアーチスプリントにおいては、ソルダーレスジョイント(key & keyway)は避け、ソルダージョイントを用いる。
- ⑥剪断力がはたらく部位にはバーティカルストップとしてインプラントを使用し、ブリッジやパーシャルデンチャーは極力避ける。

⑦対合歯が天然歯列で、欠損をインプラントで補綴する場合は、欠損歯数と同じ数のインプラントを植立する。

⑧長期的観点から追加治療を回避するために、抜歯基準のハードルを高く設定する。



以上のことを常に念頭に入れて、日常臨床に取り組んでいるとのこと。また、最近では、治療のオプションも増え、以下にあげるいくつかの点に関しても解説されました。

①第2大臼歯の欠損について

第2大臼歯は最も咬合力を受ける歯牙であり、これが欠損する事により様々な変化が生じる。対合歯の挺出や、第1大臼歯のP発作等はよく見られる症状である。現在の処置としては延長ブリッジ（もしくはパーシャルデンチャー）、そのまま放置、インプラント等があげられるが、第1大臼歯の負担過重や、長期的に見れば左右の咬合バランスが均等になりにくい点、残存歯の保護という観点から考慮すれば、インプラントが最も有効ではないか。

②Peri implantitisについて

インプラントを埋入し、上部構造作製後動揺してきたり、スモーカーの患者さんに咬合が不安定なままインプラント処置を行うことにより、インプラント周辺部に骨吸収が起きたケースがあった。いわゆるインプラント周囲炎が起きたわけであるが、このケースも咬合を慎重に再度診査し、調整を行った結果、インプラントを撤去せず骨吸収の改善が見られた。

また、ペリオのケースにおいても、レントゲン写真を見た限りでは抜歯しなければいけ

ないか？と思われるような歯牙も、咬合調整した結果骨吸収の改善が見られたものがありました。いずれも、慎重な診査、調整の必要性を痛感させられました。

③総義歯のケース

顎堤の吸収が前後、左右的にかなり相違がある場合、通法に従って義歯を作製しても義歯の微妙な動揺が収まらず、うまくいかないケースもあると思います。このような場合に顎堤の傾斜をよく検討し、あえて瞳孔線を基準とせず咬合平面の傾斜を調整する事もあるとのことでした。

④ストレスへの対応

現代人は、多かれ少なかれほとんどの人が何らかのストレスを抱えていると言われていいます。グライディングやクレンチングもその結果という意見もあります。これが原因でペリオや咬合が悪化することは临床上非常に多く、様々な対応を考慮しなければなりません。今回の講演では、このストレスに対し、患者さんの生活背景や習慣等のバックグラウンドも把握し対処しているとのことでした。

ストレス・コーピング (stress coping) がそれで、ストレスを評価し対処しようとすることです。自分の意思を曲げようとするストレスより、自分の意思が強ければ、恐らくそのストレスを跳ね返してしまうでしょう。しかし、もともと自分はどう生きてゆきたい



のかという基本的な意思さえ薄弱なまま成長続ける中でさらされるストレスは、弱い意志を曲げ、それでは嫌だから元に戻そうとして戻らずストレスを感じることになる。

咬合とストレスの関係には、解決法が困難な事も多々あり、患者さんとのコミュニケーションをとる時間を作りストレス・コーピング法(解消法)を患者さんと共に考えているとのことでした。

以上、今回の講演について簡単に説明しましたが、患者さんとのコミュニケーションをはかり、信頼関係を十分に築き治療を開始する。また、術前の診査・診断をどれだけ確実に行えるかが重要だということです。長期的な咬合安定は治療計画の第1目標であるとのことでした。われわれの日常臨床においても最も基本的なことではないでしょうか。

(学術 大塚昭彦)

歯みがき手順カードの紹介

衛生士会が作製した「歯みがき手順カード」は昨年、平成17年度後期の障害児クラスの歯みがき巡回指導に使用しています。

歯みがきする部位を順番どうりに10回みがいていくことをわかりやすく絵でおしえています。

点線で切り離して、リングに通してカードにして使っています。もちろん、歯科医院での歯みがき指導にも有効です。

又、ポスターとして待合室のブラッシングコーナー等ではりつけて「1枚210円にて受付で販売してます」と患者さんにアピールするのもいいのではないのでしょうか。

ポスターとして使用する場合は大きい番号または矢印(→)を入れると良いでしょう。購入を希望される方は市歯事務所までご連絡下さい。



活発な意見交換行われる

—恒例の三歯会開催—

7月20日（木）19時30分より新歯科医師会館にて三歯会が開催された。本会より藤波副会長を始め医療管理、広報、公衆衛生、学校歯科、各先生方、歯科技工士会より2名、歯科衛生士会より5名の参加を得、参加人数は20名で宮本医療管理委員長の司会で会は進められた。



まず藤波副会長より、三歯会の現在のあり方、これからいかに発展させて行くかという事を考えていきたいと述べられた。次に歯科技工士会、玉置会長より、年1回の三歯会をこれからは、もっと機会を増やし交流を深めて行きたいと述べられた。また、歯科衛生士会植熊本市支部長より、歯科衛生士会の会員が少なく決まった人達が頑張っているのが現状で、もっと会員を増やす方法を考えていきたいとのことだった。

続いて、田中理事（医療管理委員会）より、三歯会の運営を含めた今後のあり方について歯科技工士会、歯科衛生士会より意見を求めた。

歯科技工士会からは、各歯科医院で歯科技工士会への勧誘を推奨して欲しいとの要望。歯科衛生士会より、入会者が少ない現状を打開すべく、多くの入会者がいれば、歯科衛生士会の充実、発展に繋がる。入会メリットとして講習会の受講料が安価なこと、講習会や会報などにより情報提供ができることなどがあり、先生方からも歯科衛生士会へ入会する事を勧めてほしい。

また歯科衛生士会としては勉強だけではなく施設への出務も行っており出務できる人を探しているとの事だった。又、介護との連携の際、歯科を軽視されない為にも医師、ケアマネージャーに口腔ケアの重要性を訴えていく必要があると述べられた。歯科衛生士会では『歯みがき手順カード』を作成しました。ぜひ各診療所で使用していただければとの事だった。各診療所で浸透すれば患者はどこの歯科医院に行っても同じ指導が受けられるメリットがあるという声があった。



次に歯科医師会より歯科技工士会へマウスガードについて、ラグビーでマウスガードの着用が義務付けられ青少年育成の問題も含め価格を少しでも低く提供していきたい。その為に技工料を考慮していただく事を要望した。さらに学校歯科委員会の前田先生より、現在取引の技工士がやむを得ず仕事ができなくなった時すぐに代わりの技工士の手配、紹介をして欲しいとの意見があった。これに対し、歯科技工士会は、すぐに会に持ち帰り協議するとの事だった。歯科衛生士会は今年40周年を迎え更なる発展を願い、また、今後三歯会がお互い助け合い益々の飛躍を遂げる事を約束し閉会した。

（医療管理 有働秀一）

更なる知識と技術の向上で、各医院の発展を

—スタッフ研修セミナー—

6月17日(土)、熊本歯科衛生士学院5階にてスタッフ研修セミナーが開催された。



初めに古賀明会長より、病院の二極化が取り上げられる昨今、各医院を発展させて行くためには、スタッフの協力が重要になる。そこで、今回の実習でしっかりと学んでいただきたい、と開催の挨拶があり、続いて(株)G C九州営業所より歯科衛生士の新飼恵未様、古谷幸子様両講師の紹介があり、受講生21名が2班に分かれて講義と実習を行った。内容は、材料実習①、②(セメント、印象材、石膏)とブラッシングセミナーで以下の日程で進んだ。

- 14:40~15:30 材料実習①
- 15:30~16:20 材料実習②
- 16:20~16:40 片付け、休憩
- 16:40~17:30 ブラッシングセミナー
- 17:30~ 質疑応答

材料については、アルジネート印象材による印象採得と石膏模型作製の手順で、トレーの選択、試適、粉末の計量、水の計量、練和、混水比の注意、トレーへの盛り付け、歯牙への塗布、トレーの圧接、印象の清掃、続けて、石膏の計量、練和、脱泡、石膏注入、トレーからの撤去、トレーの清掃まで一連の流れで実習が行われた。

石膏を流す際パイプレーターが強さが強すぎたり、長時間パイプに置きすぎていたことが目に付いた。又、印象材をうまく練ることができず、何回も練習、失敗を繰り返すことで、しっかり覚えた様子だった。

次に、リン酸亜鉛セメントの練和の手順につ

いて、J I S法での説明があった。粉末の計量、液の滴下と粉末の分割、練和(粉を6分割して、1分30秒で練和)、練和完了。標準の硬さは、スパチュラの先にすくいとり、2秒で垂れ落ちる程度とする。さらに使用したスパチュラは、すぐ水につけておくようにする。今は、あまり使用されていないが、これを練ることができれば、他はやさしい。他の材料では、グラスアイオノマーセメント、光硬化型セメント、光硬化型コンポジットレジンについて説明があった。

材料実習後、ブラッシングの講義が行われた。ブラッシングの最大の目的は健康な歯肉、口腔の獲得である。その方法として①毛先磨きが大切で、毛先で落とす。②毛先を直角に当てる。刷面を使い分ける。歯面を分けて考える。③歯ブラシは、歯面に軽く当てる。力の入れすぎは、「三重の損」で、竹ぼうきに例えて説明があった。力を入れすぎると先が広がり狙った所に当たらない。持ち方は自由に決して否定しない事が大切である。

次に鉛筆を使った歯ブラシ実習について説明があった。

〔鉛筆実習〕

ブラッシングの正しい力加減を「Bの鉛筆」を使って体得。

1. 歯面をぬらしめます。
2. Bの鉛筆で歯面に印を書きます。
3. 2~3往復で汚れを歯ブラシで落とします。
 - ・正しい力加減(50~100g)だと、2~3往復で落ちます。
 - ・力が強すぎたり、歯面に毛先が当たっていないと汚れを落とす事はできません。
 - ・「歯ブラシの向き」「当て方」「力加減」など自分自身の工夫が必要となります。
4. 鉛筆の汚れが落とせたら、赤染めしたプラークも同じように落とせます。

〔鉛筆実習のメリット〕

赤染めしたプラークは1度落としてしまうと見ることはできません。

- ・鉛筆は何度でもできる。 ・手軽にできる。
- ・短時間でできる。



(注) 鉛筆を口腔内で使用しても害はないとのことですので安心してお使いください。(鉛筆メーカーに確認済みです)

[実習手順]

①中央に「点」



②中央に「縦線」



③中央に「横線」



④歯頸部に沿って「線」



[歯ブラシの選択]

どの歯ブラシが歯をきれいにするか? より、歯ブラシをどのように使うかが大切です。

使いこなしやすい歯ブラシは…

- ・毛先の加工がされているもの
- ・ヘッドの大きさはコンパクトで小回りがきくもの
- ・ネック・ハンドル部はストレートでスリムなもの
- ・刷面は平らなもの
- ・毛の硬さはM (普通)、S (ソフト)、U (ウルトラソフト)

[歯ブラシの消毒]

耐熱温度 100℃ ⇒ 煮沸消毒
100℃未満 ⇒ 薬液消毒

[指導法]

①2度染め方法

磨く → 染め出す → チェック → 磨く
→ 染め出す → チェック → 磨く

〈メリット〉

担当者が変わっても対応できる
予後の経過が観察できる



②チャート記録方式

医院内で統一したチャート用紙を用意し、記入していく

〈メリット〉

担当者が変わっても対応できる
予後の経過が観察できる

③ワンポイントレッスン方式

指導をする部分を狭い範囲に限定して行う方式

—全体を見ていくと磨き落とすことだけに集中してしまい本当に伝えたいことが伝わらない

〈メリット〉

1. 一箇所への指導の為、短時間で簡単にできる
 2. 「一箇所だけなら…」とよくやってくれる
 3. 他の部分への波及効果も期待できる
- ポイントを選ぶコツは?

- ①患者さんが気にしている部分
- ②歯肉の変化 (出血・発赤) がみられやすく、わかりやすい部位
- ③手鏡で確認しやすい部位 (前歯部→白歯部)

歯科医院において患者様との意思の疎通を計る上でも歯科衛生士は大切な役割を担っている。予防が取り沙汰されている今日、患者様に安心して来院してもらうためにも更なる知識と技術の向上が求められると思われる。今回の受講生にとって有意義な時間になったと思います。また来年もぜひ開催したいと思います。さらに多くの受講生の参加を願っています。

(医療管理 有働秀一)



位相差顕微鏡で細菌がいっぱい!!



—平成18年小学校歯磨き巡回指導前期—



今年度の小学校歯磨き巡回指導前期に“16校中15校、それも同日に2校、まして指導を行う生徒数が160名を越えているところが2校もある～これは大変だな”と言うのが最初の感想でした。

昨年は前期10校、後期5校、と分散していましたが、今年は6月の歯の衛生週間に併せて小学校の希望が6月に集中してしまったようでした。11月8日、いい歯の日は、あまり浸透していないのかなとも思われます。

今回の歯磨き巡回指導より、極少量（1mm³）

平成18年度歯磨き巡回指導実施予定表

	学 校 名	実施期日	曜日	実施時間	時 間	3年生人数	組数	第75条学級
1	鮑田東小学校	6月2日	金	5時間目	14:05～14:50	78名	3	5名
2	力合小学校	6月5日	月	2、3時間目	9:45～10:30 10:45～11:30	161名	5	7名
3	帶山小学校	6月6日	火	3、4時間目	10:50～11:35 11:45～12:30	164名	5	3名
4	鮑田南小学校	6月7日	水	5時間目	14:15～15:00	17名	1	
5	川口小学校	6月7日	水	5時間目	14:10～14:55	25名	1	3名
6	出水小学校	6月9日	金	5時間目	14:00～14:45	64名	2	4名
7	清水小学校	6月12日	月	3、4時間目	10:45～11:30 11:40～12:25	109名	4	6名
8	白坪小学校	6月13日	火	3、4時間目	10:50～11:35 11:45～12:30	102名	3	9名
9	池上小学校	6月14日	水	3、4時間目	10:40～11:25 11:35～12:20	51名	2	6名
10	鮑田西小学校	6月15日	木	3時間目	10:45～11:30	18名	1	2名
11	長嶺小学校	6月16日	金	2、3時間目	9:45～10:30 10:50～11:35	125名	4	3名
12	託麻原小学校	6月20日	火	3時間目	10:45～11:30	134名	4	親学級で
13	弓削小学校	6月26日	月	5時間目	14:05～14:50	63名	2	10/31
14	桜木小学校	6月27日	火	3、4時間目	10:50～11:35 11:45～12:30	107名	4	6名
15	中島小学校	6月28日	水	5時間目	14:10～14:55	38名	2	1名
16	若葉小学校	11月14日	火	5時間目		98名	3	9名
	弓削小学校	10月31日	火	研究発表				4名

のブランク内の位相差顕微鏡の細菌像をビデオにて映像化することにより細菌が多数存在すること、また細菌数が1億個あることを伝えました。

菌垢染め出し剤にて、染め出してブラッシングをしていくのですが、赤い染め出し剤を嗅いで「酸っぱい臭いがする」「変な臭い」菌に付け出したら「から〜い」「しょっぱい」と色とされる先入観でいろいろなことを言っていました。実際、臭いも味もないのですが。

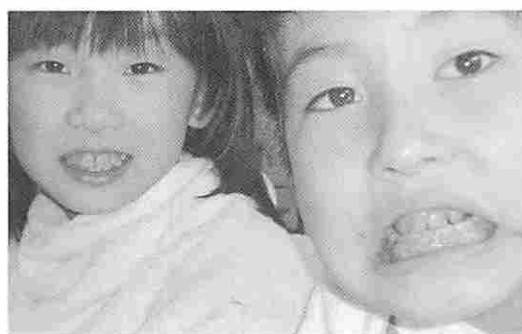
授業最後に少し時間があるとき『質問がある人』と言うとみんな元気よく「はい」「はい」と手を挙げて「菌は何本あるのですか」「菌はなぜ生えるのですか」と菌に関する事ならいいのですが、なかには「先生はいくつなんですか」「結婚しているんですか」と関係ないことまで

聞いてきます。ハハハ（菌菌菌）と笑ってごまかす!!

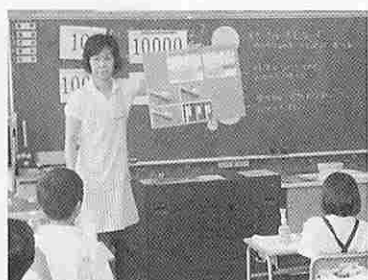
各小学校を巡回して思うことは、“熊本市はひろい”ということ、今回巡回した川口（かわぐち）小学校は緑川の河口の方で川を越えれば宇城市宇土、また東部の長嶺小学校は国道道路沿いに在り、少しでパークドームについてしまうところ、熊本空港に近いせいか飛行機の音がうるさく、窓を開けていると授業に差し障る感じでした。

最後に御協力下さった学校歯科医の先生、やり繰りして出務した衛生士会の皆様、ありがとうございました。

学校歯科医師	衛生士数	学級歯科委員
尾上 宏	8名	西 正浩 山根 康司
成松 賢二 弘中 一郎	10名	斉木 智章
坂口 貴章 二宮 康郎	10名	前田 明浩 津田 勝久
尾上 宏	2名	山根 康司
河野 哲朗	4名	福本 聡子
堀川 義治	6名	西 正浩
緒方 孝則	7名	清水 陸博
関 剛一	9名	井手 裕二
古川 猛士	6名	津田 勝久
赤城 公德	4名	斉木 智章
寺本 豊徳 合澤 康生	7名	井手 裕二
原田 教二	9名	前田 明浩
小島 博文	4名	清水 陸博
才田 雅英	9名	福本 聡子
赤城 公德	5名	井手 裕二
澤木 孝明		
小島 博文		



(学校歯科 井手裕二)



第27回熊本市学校保健会総会・合同研修会



第27回熊本市学校保健会総会・合同研修会が6月30日（金）午後2：00より熊本市産業文化会館大ホールにて開催された。

総会において、平成18年度学校保健功労者表彰が行われ勤続15年の学校歯科医17名の先生が表彰された。

表彰者代表として西川先生が挨拶された。

休憩をはさんで、学校保健合同研修会が行われ、「子どもたちの健康と体力向上について」のテーマで健康教育課・長野一教育審議員の講話があり、健康を維持するのに最低限必要な体（生きているのに最低限必要な体力）にとっては、運動をするための体力（運動をするための基礎となる身体的能力）と健康に生活するための体力（体の健康を維持し、病気にならないようにする力）の2つの体力向上が重要である

○平成18年度熊本市学校歯科保健功労者表彰（勤続15年）が行われ、以下の17名の先生が表彰されました。

氏 名	学 校 名
天村 正美先生	画図小学校
伊東 泰蔵先生	龍田小学校 他1校
岩村 公一先生	託麻西小学校
大嶋 健一先生	京陵中学校
甲斐 利博先生	帯山中学校
清川 恵治先生	尾ノ上小学校
江田 雅彦先生	日吉東小学校
坂梨常太郎先生	白川中学校
田上 恵先生	錦ヶ丘中学校
寺本 豊徳先生	長嶺小学校 他1校
遠山 啓介先生	長嶺中学校
永野 忠先生	託麻中学校
西川 庄次先生	出水南小学校
松本 光示先生	出水中学校
森尾謙二郎先生	桜木東小学校
柳本 泰孝先生	東町中学校
與儀 実彦先生	西原中学校

ことを説明された。

調和のとれた食事、適切な運動、十分な休養及び睡眠の3つのバランスのとれた生活が健康づくりに大切な3原則であることを講演された。

（学校歯科 井手祐二）

国立病院機構熊本医療センター・熊本市歯科医師会との協議会

7月25日(火)午後7時より熊本県歯科医師会館3階「市会議室1」において国立病院機構熊本医療センター・熊本市歯科医師会との協議会が行われました。出席者は国立病院機構熊本医療センターから宮崎久義院長、池井聰副院長、河野文夫副院長、高橋毅救命・救急部長、児玉罔昭歯科医長、歯科医師会より古賀明会長、藤波好文副会長、清村正弥専務理事、田中弥興医療管理理事、宮本格尚医療管理委員長の計8名でした。田中理事の開会の挨拶に続いて代表者挨拶として、歯科医師会より古賀会長から4月の点数改正以降の、歯科の状況について、国立病院機構熊本医療センターとの連携で非常に助かっており、これからも益々連携を深めていきたいという事、国立病院機構熊本医療センターより宮崎院長から歯科医師会との連携は全国的にもめずらしいと言う事、入院を重視し外来とGPとの機能分担をよりはっきりさせていきたい、FAXによる紹介の場合は時間予約まで持っていきたい、病院の第二期工事について、などのお話がありました。その後、出席者紹介の後、協議に入りました。

協議題

1、歯科紹介率について

目標は35%超、6月は40%を超えたとの事でした。平成17年度累計で31.2%(医科は67.5%)今年度は4、5、6月で累計35.1%。今回の改正でどこも病院歯科が非常に厳しい状況で、熊本も人員削減などで厳しい状況だが、歯科医師会との連携を益々深めて頑張りたいとの事でした。

2、障害者歯科治療について

障害者歯科診療の態勢を整えているが、こちらの方はまだまだ利用が非常に少ないとの事でした。認知度がまだ低い事もあるので、歯科医師会会員へもっと知ってもらう事、障害者団体や県の福祉課などとの協議なども考えていきたいとの事でした。また、来院される時はできるだけ紹介の形で来院していただきたい。また、治療が済んだら各医院にお返しして、メンテナンスなどをお願いする形で病診連携を深めていきたいとの要望もありました。全身麻酔下で集中的に治療していただ

けるとの事ですので、困っている患者様がいらしたら、大変喜ばれると思います。

3、歯科救急医療(救急の利用状況)について
高橋部長より平均で月10名前後、年間120名程度の利用があるとの事でした。交通事故などの外傷の場合、歯科が併設されているので連携して治療できるため、かみ合わせなどに配慮しながら治療が行えるのは大きいとおっしゃっていました。また、救急を通さずに直接歯科や他科に行かれる方もいますので、実際の数はもっと多いそうです。登録医になっていただくと、あらかじめ歯科医院の場所を下見してすぐに駆けつけられる態勢を整えているので、まだの方は是非登録していただきたいとの事でした。不明な点は市歯科医師会の事務局までお問い合わせ下さい。

4、救急蘇生講習会について

例年通りに麻酔科にお願いして行う予定です。これは何度も受講する事によって身に付くものですので、ぜひ多数の受講をお待ちしているとの事でした。また、新入会員には特に受講を勧めていきたいとの意見が歯科医師会の方から出ました。

5、開放型病院連絡協議会について

9月11日(月)午後6時半よりパレアにて行われますので、多数の参加をお待ちしていますとの事でした。

6、その他

清村専務理事より、愛知の歯科医師会から熊本の病診連携について問い合わせがあったとの事で、内容は歯科におけるクリティカルパスの作製についてだそうです。医科のクリティカルパスについては国立病院機構熊本医療センターが全国に先駆けて行っていると宮崎院長からお話がありました。歯科におけるクリティカルパスの作製は、なかなか難しい所もありますが、今後検討課題の一つでしょう。

また、セカンドオピニオンの窓口を設けているが、30分1万円(保険適応外)と言う事で、相談は多いものの保険診療の枠内でやってほしいという方が多く、対応に苦慮しているとの事でした。

(医療管理 宮本格尚)

第4回地域歯科保健研修会

テーマ：地域ですすめよう！子どもの口の健康づくり

一歯っぴーかむカム インくまもとー



表記テーマを掲げて、7月8日(土)熊本市役所14階大ホールにて午後2時から4時まで行われた。主催者を代表して熊本市健康福祉局局長、西島喜義氏の挨拶、地域保健福祉課課長補佐、吉良直子氏による第2次熊本市歯科保健基本計画「一歯っぴーかむカム くまもとプラン」の説明（それぞれのライフステージにおける対策や指標、目指す姿など）がなされた。すなわち、さまざまな取り組みによって、口の機能の発達支援を行い、楽しい食事や会話ができることにより、口の健康づくりの推進、自分の口に満足している人の増加をめざす、ということでした。

つづいて、「一歯っぴーかむカム活動紹介」シンポジウムが、熊本市歯科保健推進協議会会長も兼任されている古賀会長を座長として行われた。

①8020推進員連絡会、深川峰子氏は6月4日上通りイベントに8020推進員として、本年より参加協力したが、その時に実施したアンケート結果報告を行った。まとめとして以下の事項の報告がなされた。

- ・市民の啓発を目的とした活動として効果的
- ・8020推進員活動に関して予想以上に小学生の関心が高い

- ・活動への関心は50代が高い
- ・小学校と連携した活動の可能性が示唆
- ・情報の提供場所として地域の歯科医院や学校の可能性
- ・口の健康情報は地域にいきわたっているとはいえない
- ・歯の祭典では、若年者へのアプローチが可能

古賀会長コメント；市歯会は6月第1日曜日に歯の祭典上通りイベントを行っております。8020推進員コーナーを本年初めて設けてもらった。結果の集計を見て、単独のコーナーとしては最も人数が多かったのではないかと思います。10代の子どもの関心の高さが伺える結果に希望が見える。（参考：P6～イベントデータ集計結果）

②教育委員会健康教育課、川下裕美子氏は本年度の健康教育課題として、健康で安全な生活習慣の育成、体力づくりの推進、食育の推進の3点を挙げた。

子どもたちの生活習慣における問題点と望ましい生活習慣づくり、健康の3原則（調和の取れた食事、十分な休養・睡眠、適切な運動）をもとに、「いきいき健康づくりプログラム」を活用した体力づくりの推進などを述べた。

また、芳野小では8020推進員と連携した歯科保健活動が行われているとのことであった。

③弓削小学校、山野裕子氏は歯科保健教育の取り組みについて報告された。

8020推進員と連携した歯磨き指導、8020推進員による講話など。また本年10月31日に「歯磨き戦隊ミガクンジャー」イベントを予定しているのでぜひ参加をお願いするとのことであった。

渡辺理事：昨年弓削小で歯科講話を行ったとき

活発な活動が行われていたとの感想をのべた。
清村専務：10月の発表会イベントについて、学校歯科医もどうやればいいのか、模索しながら行っているところでもあるので、ぜひ呼びかけていただきたい。

④歯科技工士会副会長、増田和博氏は歯科技工士の仕事についての説明を行った。また、平成17年度より清水文化センターでの歯科保健活動に参加しているとの報告がなされた。

⑤歯科衛生士会熊本市支部長、植 由紀子氏は「小学校での子どもの口の健康づくり」と題して、本会と連携して行っている市内小学校への歯磨き巡回指導の実際について報告された。個人の準備物の詳細、指導内容として、オリエンテーション（学校歯科医、教育委員会）、講話（ビデオ、媒体、クイズなど）、ブラッシング指導、まとめ（担任教師）の詳細。巡回指導は子どもたちから逆に力をもらう日々でもあるとのことであった。

古賀会長コメント：毎回独自の媒体を考えて、手作業で作ることに頭が下がります。8020推進員の協力がもらえれば、さらに活発な活動となるのではないかと思います。

⑥市歯科医師会学校歯科担当理事、井手裕二氏は本会の活動報告として、歯の衛生週間行事（2006歯の祭典上通りイベント、全会員による無料歯科健診、子ども文化会館での無料健診よい歯のピエロショー）、熊本市立幼稚園フッ素塗布、熊本市民健康フェスティバル、小学校歯磨き巡回指導などを紹介した。むし歯の成り立ち、予防、歯の外傷、マウスガード、などの解説を行った。

シンポジウムの講評として関顧問から、10年前は高齢化社会といわれていたが、今や超高齢化社会といえる。国の社会保障費がパンクしつつある、また制度そのものが変わりつつある。地方自治体も変わる必要がある。そのひとつが本日のイベントといえるだろう。私も小、中の校医をしているが、子どもたちを見て、知識は高いが、実践は難しいのが実感としてある。実践させるための一法としてリアルな映像、説明

が子どもたちにインパクトを与える。医療費の実際の話もインパクトを与える。8020の人と8000の人では医療費が年間26万円違ってくる。月2万円の差である。養護教諭もびっくりするし、子どもたちもびっくりする。そういうリアルな話をしてはどうか。

古賀会長からは、子どもの口腔保健を地域で進めるため、ジュニア8020推進員（仮称）を提言する。局としては、円滑な活動がなされるよう、組織作りに取り組んでもらいたい。との結語で以下グループワークへ移行した。



シンポジウム終了後、会場をAからG、7班に分けそれぞれ協議を行った。

古賀会長が最後に提言したジュニア8020推進員（仮称）への言及が多かった。

- ・ジュニアクラブを作るためにネットワーク作りからはじめる必要がある。
- ・ジュニアクラブをどうやって作るか、学校へ入り込んでいる8020推進員が多い地区とそうでない地区との違いを考えないといけない。
- ・8020推進員として学校へ手伝いに行きたいが、学校のほうからお願いしてもらえれば行きやすいのだが。
- ・8020と違い数字でなく子どもたちに近い数字（5525など）でアピールしてはどうか

最後に本年8月に熊本県歯科衛生士会創立40周年記念事業を行うのでご参加をお願いする由の追伸がなされて終了した。

（広報 古川猛士）

鑄造コアとレジンコア

小野 秀樹

日常の臨床において、失活歯の治療は頻繁に行う治療である。

失活歯に対し、その失われた部分の歯質を補填し歯冠修復が出来る状態にするには支台築造が必要である。

大学教育の中で、最も確実性の高い築造法として鑄造を中心に支台歯築造を教えられてきた。また、臨床では、直接法で行えるため治療回数を少なくできるレジン築造を行う機会が増えてきた。最近では、グラスファイバーポストを使用したレジンコアが注目されている。そこで今回、2003年の補綴誌で取り上げられた鑄造コアとレジンコアについての依頼論文やそれに付随する論文より支台築造について考えてみた。

支台築造の基本条件

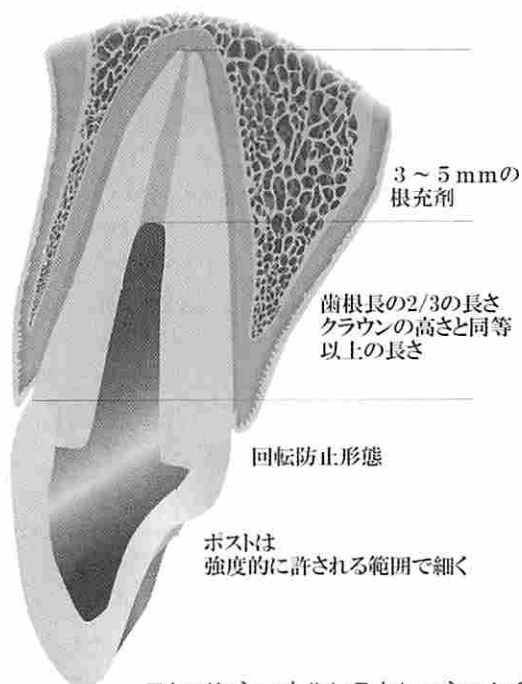
支台築造の必要な条件は、難症例とされる単根で歯質の少ない症例における鑄造支台築造を行うときの要件についていわゆる教科書的な条件をまとめると以下のようになる

- ポスト部の長さは歯根長の2/3の長さ¹、またはクラウンの高さと同等以上の長さが必要である、これは日本人の単根歯の歯根長が11～14mmなので7～9mmのポストの長さが必要²、または、ポスト部の長さは歯槽骨に保持されている歯根長の1/2の長さが必要である
- 感染防御の点から、ポスト先端から根尖部までの根管充填剤は3～5mmが必要である
- ポストの太さはポストの直径が歯根直径の1/3以上、ポストの周囲には1mm幅の残存歯質が必要、とされてきたが、ポスト部は歯根部の歯質を保護する観点から、強度的に許される範囲で細くすべきであるとの意見もある³
- 単根歯の支台築造は回転による離脱が起こるため回転防止形態を付与する必要がある⁴

支台築造の所要条件は以上のものであるが、実際の臨床ではこの条件を満たせない支台歯も多くある。このとき支台歯による原因で起こるトラブルには、支台歯ごとの修復物の脱落と、歯根破折による支台歯の破壊がある。

脱落、破折について

支台歯の脱落については、支台築造された失活歯の破折強度の実験がある⁵。これは、人の



コンベンショナルレストレーション3
(医歯薬出版より)

前歯にレジン単体（コンポジットレジン）、既製ポスト併用レジン築造、鑄造コアの3種類の支台築造でクラウンを装着した状態、しない状態で残存歯質の高さにより破折強度を測定したものである。この結果

- 残存歯質量が0 mmではレジン単体での築造法は鑄造コア、既製ポスト併用レジン、に比べて破折強度が有意に低い、つまりレジン単体での築造法は無理である
- 残存歯質量が1 mmでは鑄造コア、既製ポスト併用レジン、がレジン単体より有意に高い、つまりレジン単体での築造は望ましくない
- 残存歯質が2 mm以上残っている場合は、鑄造コア、既製ポスト併用レジン、レジン単体の支台築造の方法には影響を受けない
- この実験中に生じた破折の様相は鑄造コア、既製ポスト併用レジンが両者とも歯槽骨縁下に達する破折を示すものが多かったのに対し、レジン単体で歯槽骨縁下に達する破折を示すものはなかった。
- 上記の結果から残存歯質が2 mm以上ある場合は破折強度、歯根破折の点からレジン単体の築造をするべきである

またポストに使用する金属による破折強度の違いからは、金含有パラジウムを使用したポスト併用レジンコアはチタンポストを併用したレジンコアに比べて破壊強度が有意に低い⁶など、破折強度は鑄造コアや既製ポストの材質に左右されるといわれている。

有限要素法の応力解析により鑄造コアではポストと象牙質の間に、既製ポスト併用レジンコアでは既製ポストと象牙質の間のレジんに応力が生じ、この応力はポストにテーパーが付与されると歯根破折につながる可能性がある。この結果残存歯質量の少ない場合ポストは残存歯質に近いヤング率のものを使用し、歯質の削除量を減らすことと、テーパーがないポストの使用が望ましいとしている⁷。

ファイバーポスト併用レジン築造

歯根破折を防ぐ点からここ数年、ファイバーポストを使用したレジンコアが注目されている。レジン築造におけるポストの役割は、レジンの曲げ強さ改善にあるが、ポストの最適な硬さについての指標はない。ただ、歯根象牙質より弾性係数の小さい材料ではポストの設置の意味がなく、やや弾性係数が高いがあまり大きくない材料が望ましい。この点から、弾性係数が残存歯質に近いファイバーポストは有効と考えられる。

倉沢⁸によるとグラスファイバー製ポストの破壊強度はフェルールのない支台歯において他の金属性のポストより小さいが、1 mmのフェールが存在すると破壊強度が改善され他の方法による築造と近くなった、このことからファイバーポスト築造にフェールの存在が重要であることがわかった。また、グラスファイバー製ポストは単体では強度が他のポストより小さいが、支台築造しクラウン被覆すると破壊強度が増加し、鑄造コア、既製ポスト併用レジンに近くなった。また、破折様相もファイバーポストコアは歯頸部付近の斜、横方向で支台歯を再使用可能な状態の破折であった。ファイバーポストコアの失敗はポスト自体の破折や、テンボラリークラウン除去時の脱離がある。ポストの破折はフェールの存在で防げるであろうが、脱離は根管内象牙質への接着剤の使用の難しさを示している。

ファイバーポストコアについてまとめると

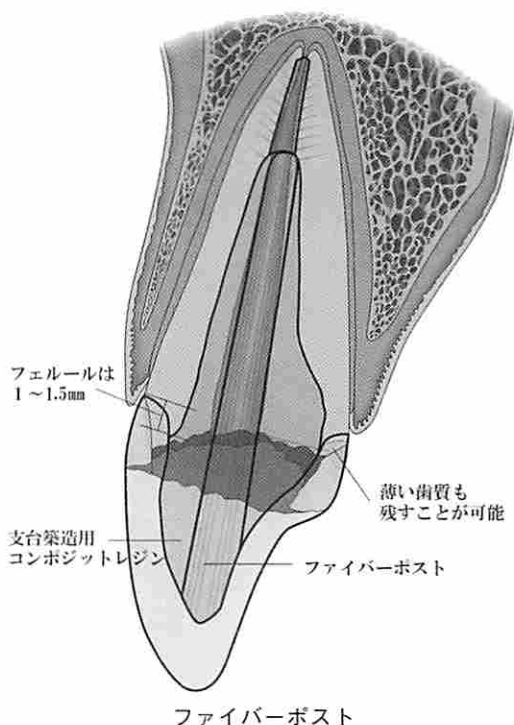
- フェールが1 mm以上ある支台歯では、他の築造方法と同等の破壊強度を得られた
- 破折は歯頸部付近でおき、再使用可能な状態で破折することが多い
- ファイバーポストの接着力はほかの既製ポストと比べて大きくはない
- 歯冠部歯質に比べ根管内象牙質への接着剤の応用は難しい

残存歯質の少ない漏斗状根管への支台歯築造

残存歯質のある支台に対しては、フェルールを付与することが出来ればレジン単体、もしくはファイバーポストコアでの築造で他の方法と変わらない破壊強度を得られることが示されたが、残存歯質の少ないいわゆる漏斗状根管に対しては、レジン単体築造、既製ポスト併用レジン築造に比べて有意に铸造コアが高い破壊強度を示した⁹⁾。しかし破折様相は全て歯槽骨線下に及ぶ破折を示している。このことから、漏斗状支台歯への铸造コアの適用は、再利用を考えない最後の手段としての有用性を示している。一方、塩沢¹⁰⁾によると、実験的に歯根の残存厚さが1mm以上残っている歯に铸造コアを装着した場合の破壊強度は約500Nで、前歯での最大咬合力の約30kgに比べ著しく小さく、通常の咬合力程度では歯根の破折の確率はかなり低く、漏斗状根管における破折の大半は保持力不足に起因する築造の脱落よりおきた辺縁歯質や歯根の破折であるとしている。また、铸造コアにおける脱離を防ぐためには、保持力を強くするべきであるが、铸造コアの保持に関与する部位はテーパの小さなポスト先端部であり、テーパの大きな根管口付近は保持に関与していないとしている。

- 漏斗状根管では铸造コアが最も強い破壊強度を示す
- この場合破折様相は歯槽骨線下での破折である
- 漏斗状根管の実験での破折強度は通常の咀嚼力咬合力に比べ著しく大きい
- 铸造コアの保持に関与しているのはテーパの少ないポスト先端部である

今回、主に実験の結果 (In vitro) より支台築造について考えてみたがその結果、残存歯質の残っている支台歯へのレジン単体の築造の有用性を感じた。また、ファイバーポストコアは実験結果から、1mm以上のフェルールの取れる症例において第一選択となりうると共に、接着操作の難しさを感じた。フェルールの取れない症例に関しては、歯冠延長術や、歯牙延出も考慮する必要があるであろう。



- 1 中沢靖ほか 各種釘形態が支台歯の及ぼす影響 補綴誌18: 58-69, 1974
- 2 野口幸彦 铸造支台築造の保持力に関する研究 補綴誌29: 771-788, 1985
- 3 福島俊士ほか 支台築造法の現在 歯科評論720: 48-56, 2002
- 4 羽野・高根スサナ 支台築造に関する研究 - 歯冠部歯質が崩壊した支台歯について - 口病誌55: 525-539, 1988
- 5 石原正隆。支台築造された失活歯の残存歯質が破折強度および破折様相に与える影響。鶴見歯学24: 157-170, 1998
- 6 Cormier CJ In vitro comparison of the fracture resistance and failure mode of fiber, ceramic, and conventional post systems at various stage of restoration. J Prostodont 10: 26-36, 2001
- 7 川崎貴生 無髄歯の予後を良好にするための铸造体とは補綴誌, 47: 244-252, 2003
- 8 石上恵一, 倉沢郁文, 山口泰彦 ファイバーポスト併用レジン築造の問題点と可能性 補綴誌50: 145-164
- 9 橋本 興 他, 漏斗状ポスト孔の支台築造に関する研究, 補綴誌46: 54-63, 2002
- 10 塩沢育巳 铸造コアとレジンコアの選択基準 補綴誌47: 253-260, 2003



夏だ！ビールだ！歯科医師会館入居

第30回熊本市歯科医師会 親睦大会

30回を迎えた親睦大会、恒例のビアパーティーが7月8日（土）午後6時30分より三井ガーデンホテルにて開催されました。今回は、6月に完成した新会館への入居を祝う会を兼ねて、例年以上の参加をいただきました。

まず清村正弥専務理事よりご指名を受けた浦田健二県歯専務理事が新会館完成の報告と、来年の県歯設立100周年記念行事のご案内をされ、次ぎに古賀明会長の主催者代表挨拶、来賓を代表し堤直文県歯会長にご祝辞を頂き、前会長関剛一先生の「元気ですか！乾杯！」というご発声で開宴となりました。

今年からビアサーバーを3台に増設し、心ゆくまで飲んで、日頃の疲れを振り飛ばしていただきたいと考えておりましたら、会場に到着された方、次々にウェルカムドリンクよろしく生ビールを飲み干されていました。



祝賀・懇親ビアパーティー

人 会 館

パビア親陸会師医科



宴も盛り上がる中、新企画の都道府県名当てビンゴ大会でしゃぶしゃぶ用高級肉や焼酎をはじめとする食料品の賞品を獲得していただきました。

ビアサーバーの残量が空に近づき、皆様の談笑で会場盛り上がる中終了時間となり、合澤康夫副会長の万歳三唱で閉会となりました。バレー

ボール大会、ボーリング大会、ビアパーティーと形を変えて親睦大会も継続していますが、このような集いの場で会員間に新たな出会いがあり、会としての絆が深まるのではないかと思います。

ご出席いただいた皆様、本当にありがとうございました。

(厚生 秋山 清)



社会保険委員会



- ①氏名
- ②開業場所・開業年数
- ③家族構成

- ④最近感動したこと、憤慨したこと
- ⑤委員会に所属しての感想
- ⑥趣味、特技、私のこだわり、など



- ①稲葉 逸郎常務理事
- ②花園1丁目 25年
所属支部 北部1支部
- ③妻：51才、長女：25才（独身）、次女：23才（独身）
- ④最近感動したこと：
歯科医師会館が完成し、市歯科医師会が入居できたこと。
- ⑤社保委員会理事を4期目です。委員全員の協力で充実した活動ができていると思います。やっと会員の先生からの質問が多くなるようになり、うれしいことと思います。
- ⑥ゴルフひとすじの人生です。



- ① **渡辺 洋**委員長
- ② 花立3-3-26 13年目
所属支部 東部4支部
- ③ 妻、長男（小6）、長女（小3）、次女（小1）
犬：ビーグル チェロサブロー（半年）
- ④ ・人間ドックへ行き、何十年ぶりで浣腸されたこと。
・礼節を重んじない年配の者を目にしたとき。
- ⑤ 悔やみを言わず、皆で（正しく）算定しよう。
- ⑥ 趣味：ゴルフ、バイク
特技：嘘つき
私のこだわり：焼きとりは塩



- ① **金本 良久**副委員長
- ② 新大江2丁目9-1 10年
所属支部 東部1支部
- ③ 年下の妻、長女（中1）、次女（小3）、長男（小1）
- ④ 卒業式、入学式や最近の勉強っぷり等、子ども達の成長に感動しています。
またスポーツ（WBC、高校野球、サッカー…）で頑張る姿にはとっても感動すると同時にあこがれます。
- ⑤ 会員の皆様、理事のお役にたてるように＆「わかりやすい社保」を目指して頑張ります。
- ⑥ 趣味：バドミントン、走ること…「努力・気力・体力」がモットーです！



- ①井口 泰治委員
- ②若葉3丁目17-7 13年
所属支部 東部4支部
- ③妻、長女：12才、次女：9才、長男：3才
- ④少し古い話ですが、WBCで日本代表がキューバを破って優勝したこと。
- ⑤2期目なので少しはお役にしたいと思っていますが…。
- ⑥最近、3才の長男と遊ぶのが趣味になってしまっています。

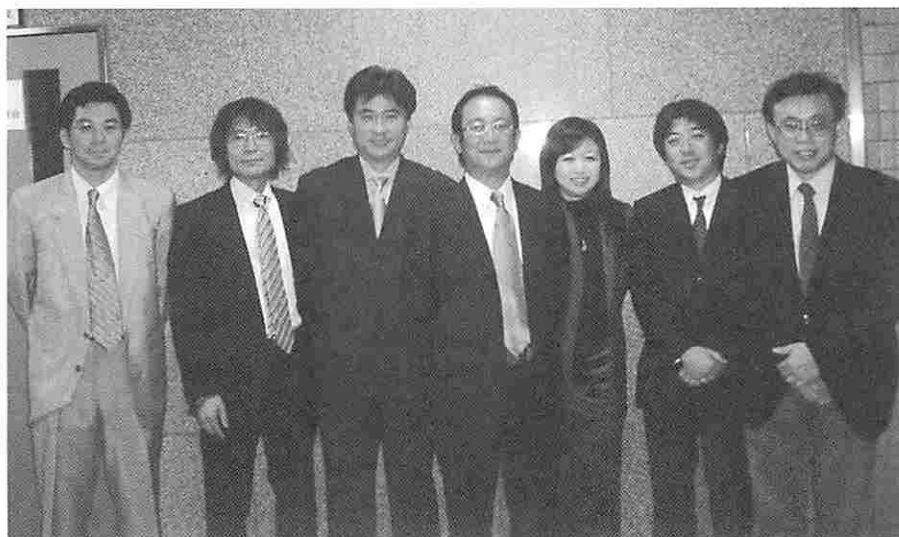


- ①宇治 保義委員
- ②沼山津4-1-22 9年
所属支部 東部4支部
- ③妻（53才）、長女（23才）、次女（20才）
- ④7月13日、秋津川沿いを走っていて大きな2重の虹を見ました。
- ⑤教わるばかりであります。
- ⑥横柄な犬との散歩



- ①加藤 久雄委員
- ②榎町2-11 11年
所属支部 東部4支部
- ③妻（39才）、長女（12才）、長男（5才）
- ④サッカーを習っている息子の蹴るボールが少しの間に、速く、力強くなっていったこと。
- ⑤自分にとっても、とても勉強になります。
稲葉常務理事のご指導のもと。
- ⑥映画鑑賞、ほとんど休日は、息子にゆっくりする時間を与えてもらえず遊ばされています。
子供のパワーにはついていけません。

学校歯科委員会



①井手 裕二理事

②花立5-12-35 6年目

所属支部 東部4支部

③妻、長男（小2）、長女（年少）

④夏休みに子供が学校で育てているミニトマトの実がよくできること。

最近、子供たちの事故が多いこと。とくに母親が我が子を殺してしまうこと。

⑤学校歯科委員会に所属して3期目です。歯磨き巡回指導でいろいろな小学校に行くことで、各小学校での校風がちがってくるのが心にのこります。

⑥趣味：バイク、自転車

特技：自転車のパンク修理

こだわり：朝食に納豆を食べること



①前田 明浩委員長

②健軍3-24-22 11年目

所属支部 東部4支部

④最近感動したこと→初めてドンキホーテに行って、その品ぞろえの豊富さとおもしろさ！
憤慨したこと→インプラントのオペ予約を忘れられて患者さんが来なかった事！（準備して待ってる身にもなってみてくれ！）

⑤3期目になりますが、相変わらず楽しく有意義な委員会だと思います。しっかりお仕事させていただき少しでも市歯科医師会のお役に立てればいいなと思っています。

⑥趣味→食べ歩き 特技→ダイエット（したい人は問い合わせ下さい！）

昨年から腰痛に悩まされて、病院を転々としてたり色々な治療を受けたりしましたが、今一つぱっとしません。どなたかいい医者や治療方法を御存知の方は是非是非教えて下さい！
宜しくお願いします！



①清水 睦博副委員長

②水道町9-31-4F 6年

所属支部 中央支部

③妻1人、長男（6才）

④横浜高校初戦敗退

⑤2期目です。相変わらず楽しいで～す。

⑥趣味：あえていえば温泉巡り
韓国のお酒を飲むこと。



- ① 齊木 智章委員
- ② 南高江1丁目13番56号 5年
所属支部 川尻支部
- ③ 妻、長男、次男
- ④ 新築した歯科医師会館
- ⑤ 2期目なので、前期での失敗を反省し、より充実した3年間にしたいと思います。
- ⑥ 趣味：釣り
特技：スキー
私のこだわり：釣り具はやっぱり「がまかつ」です。



- ① 福本 聡子委員
- ② 手取本町2-9 ステップ1ビル2F 11年目
所属支部 中央支部
- ③ 母、長男
- ④ 感動した事：東京の大都会で見た虹の美しかった事
憤慨した事：異常気象（地球の事が心配）
- ⑤ 色々な情報交換ができるし、とても楽しいグループです。
- ⑥ 趣味：ヨガ、英会話、ガーデニング
私のこだわり：楽天的に生活する。



- ① 西 正浩委員
- ② 坪井2丁目2-18 5年目
所属支部 北部1支部
- ③ 妻、長男（4才）
- ④ 憤慨した事：岐阜県庁の裏金問題
- ⑤ 多くの先生方とお知り合いになれてよかったと思う。
- ⑥ 野球、ゴルフ



①津田 勝久委員

②新屋敷1-21-10 10年

所属支部 東部1支部

③妻、娘（29才・26才）、息子（25才）以上5人家族

④感動したこと：盆栽のバラが華やかに咲いた事

憤慨したこと：親が子を殺したり、子が親を殺したりしている事

⑤井手先生のお人柄で各委員とても親しくまとまっている

⑥ゴルフ



①山根 康司委員

②細工町3-32 14年目

所属支部 西部支部

③妻、長男（13才）、長女（10才）

④県、市の各委員会の先生方のお世話になり、皆様、真摯に対応してくださり、歯科医師会に入っていてほんとによかったなと感謝しております。

この場を借りて、皆様にお礼申し上げます。

⑤皆さん勉強熱心で、nice guyな先生ばかりで心地よく、いっしょに仕事をさせていただいてます。

⑥・テニス（熊本市選手権で2年連続優勝し、県体の代表に選ばれました。）

・スキー

新会館のご案内

新会館は国道3号線に面した、交通の便のよい場所です。駐車スペースも広くとってありますので、ついでの折にでものぞいてみてはいかがでしょうか？

全景



本日代議員会開催日



市歯事務局も広くなりました



会長室・歴代会長の写真が飾ってあります



会議室 パーテーションをはずして広くしています



エントランスホール



入り口を入ると正面に市歯事務局が眼に入る



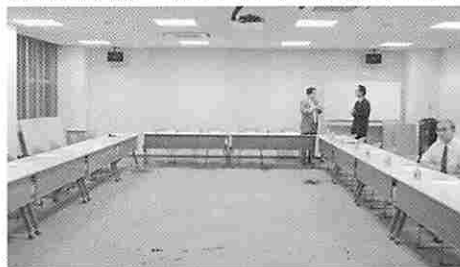
いつも忙しい事務局



会長室(3階)



会議室(3階) 机のレイアウトを変えています



3階
です



※なお、一部写真は県歯社保委員会が撮影したものを使用させていただきました。

新人です！よろしくお願ひします

新 入 会 員 紹 介



氏 名 つばき 賢
 診療所名 城山椿歯科クリニック
 (診療所) 熊本市上代4丁目11-10
 電 話／096-312-5711 FAX／096-312-5712
 生年月日 昭和46年5月22日
 趣 味 スポーツ(野球)
 経 歴 九州学院高等学校卒業
 1996年 福岡歯科大学卒業
 福岡歯科大学補綴科 7年間勤務(大学院4年)
 ありよし歯科医院 2年間勤務
 くろき歯科医院 1年間勤務



氏 名 やまぐち 英司
 診療所名 新外レッツ歯科
 (診療所) 熊本市新外2丁目2-18
 電 話／096-360-3900 FAX／096-243-0882
 (自 宅) 電 話／096-213-0543 FAX／096-213-0543
 生年月日 昭和48年5月9日
 趣 味 テニス
 経 歴 熊本マリスト学園卒業
 2000年 九州歯科大学卒業
 松永歯科医院 6年間勤務



氏 名 しま ひろあき 島田 博之
診療所名 島田歯科・矯正クリニック
(診療所) 熊本市渡鹿 8 丁目14-56
電 話／096-375-5018 FAX／096-375-5017
(自 宅) 熊本市渡鹿8丁目14-56
生年月日 昭和35年 9 月30日
趣 味 ルアーフィッシング
経 歴 九州学院高等学校卒業
平成元年 福岡歯科大学卒業
九州大学歯科矯正科 4 年間勤務
松田歯科 5 年間勤務
三村歯科 0.4年間勤務



氏 名 たなか としお 田中 利明
診療所名 田中歯科医院
(診療所) 熊本市沼山津3-10-43
電 話／096-367-5909 FAX／096-367-5909
(自 宅) 熊本市桜木2-15-18-301
電 話／096-368-6930 FAX／096-368-6930
生年月日 昭和46年 4 月19日
趣 味 パソコン、ゲーム、アニメ、プラモデル、テニス、
野球
経 歴 熊本県立熊本高等学校卒業
平成10年 鹿児島大学卒業
鹿児島大学保存科 7 年間勤務



スポーツの広場



あつまるデンタルゴルフ会

4月4日(日)			8名				
			O	I	G	H	N
優勝	安田	光則	44	41	85	14	71
2位	大森	秀則	47	52	99	21	78
3位	森	一	49	48	97	19	78
4位	奈良	健一	51	42	93	12	81
5位	宮崎	幸一	50	49	99	15	84
B・B	合沢	康夫	50	52	102	16	86

5月14日(日)			12名				
			O	I	G	H	N
優勝	河野	敬明	44	50	94	21	73
2位	山室	紀雄	45	48	93	18	75
3位	宮崎	幸一	44	47	91	15	76
4位	大森	秀則	49	48	97	21	76
5位	永田	博久	54	53	107	30	77
B・B	古賀	明	50	48	98	12	86

6月4日(日)			11名				
			O	I	G	H	N
優勝	大森	秀則	45	44	89	21	68
2位	奈良	健一	41	39	80	12	68
3位	安田	光則	42	44	86	14	72
4位	河合	隆一	45	39	84	11	73
5位	宮崎	幸一	45	44	89	15	74
B・B	本田	治夫	52	54	106	24	82

空港デンタル

4月23日 空港カントリー			13名				
			O	I	G	H	N
優勝	甲斐	利博	40	42	82	13.2	68.8
2位	大嶋	健一	42	40	82	12.2	69.8
3位	三笥	司	41	42	83	11	72
4位	松本	光示	41	42	83	7.6	75.4
5位	工藤	隆利	46	47	93	15.3	77.7

5月28日 空港カントリー			11名				
			O	I	G	H	N
優勝	松本	光示	42	38	80	8.4	71.6
2位	千場	正昭	54	46	100	27.6	72.4
3位	内田	隆	49	50	99	26.4	72.6
4位	稲葉	逸郎	40	40	80	7.2	72.8
5位	渡辺	博	44	46	90	15.6	74.4

6月25日 空港カントリー			11名				
			O	I	G	H	N
優勝	工藤	隆利	44	42	86	15.3	70.7
2位	元島	博信	44	44	88	16.1	71.9
3位	松本	光示	41	37	78	6.0	72
4位	添島	正和	45	43	88	15.8	72.2
5位	稲葉	逸郎	41	40	81	6	75

7月9日 ダブルベリア方式			14名				
			O	I	G	H	N
優勝	甲斐	利博	49	44	93	19.2	73.8
2位	三笥	司	46	44	90	15.6	74.4
3位	大嶋	健一	42	44	86	10.8	75.2
4位	本山	亘	47	45	92	15.6	76.4
5位	稲葉	逸郎	47	42	89	12.0	77.0
B・B	元島	博信	53	50	103	18.0	85.0

会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
5月24日 6月22日 7月18日	人事、歯の祭典、九州八市理事会のIT化、妊婦検診について 会館引越し、理事会IT化、公益法人への本会の対応、各委員会報告 障害児および発達に不安のある児のむし歯予防事業について、IT化、 介護予防の啓発普及

公 衆 衛 生 委 員 会

月 日	協 議 題
5月19日 6月5日 6月16日 6月26日 7月26日	上通りイベント打ち合わせ よい歯のピエロショー 幼稚園・保育園でのフッ素洗口計画打ち合わせ 上通りイベント歯の祭典2006 アンケート集計 上通りイベント反省会 熊本市民健康フェスティバルの打ち合わせ

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
6月15日 7月12日 8月10日	3、4階ホールの機材取り扱いマニュアル作成 6/24市学術講演会について 医師会との共同講演会 「機能水が変える歯科医療」講演会について 妊婦健診受診増対策について 妊婦健診受診増対策について

学 校 歯 科 委 員 会

月 日	協 議 題
5月31日 6月27日 7月25日	熊本市学校保健会の報告 6月歯磨き巡回指導の打合せ 6月歯磨き巡回指導報告 第27回熊本市学校保健合同研修会打合せ 第4回地域歯科研究会打合せ 熊本県学校保健研究協議大会打合せ 歯磨き巡回指導の報告 第27回熊本市学校保健合同研修会報告 第4回地域歯科保健研究会報告 熊本市健康フェスティバル出務打合せ 熊本県歯科衛生士会創立40周年記念公開講座について

厚生委員会

月 日	協 議 題
5月12日	ビアパーティー準備
6月9日	ビアパーティー準備
6月30日	料理、会場、看板、ビンゴ、コンパニオン ビアパーティー準備
8月4日	参加者確認、ホテル担当者との打合せ 会場、メニュー、進行について、企画 ビアパーティー反省会 来年の場所決め 健康診断

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
5月18日	各郡市社保担当者の報告
5月31日	交付文書の記載について
6月7日	集団的個別指導後の対応について 保険勉強会の準備
6月14日	社保個別指導計画の確認 社保個別改善事項の確認 6月21日（水）保険勉強会の資料確認
7月19日	平成18年度個別指導計画について 6月21日（水）社保勉強会の反省 今年度個別指導計画について

広 報 委 員 会

月 日	協 議 題
5月12日	中岳133号編集会議
5月25日	理事会報告 中岳第1回校正
5月30日	中岳133号第2回校正
6月27日	かわら版6月号編集、理事会報告
7月28日	かわら版7月号編集、中岳反省会
8月11日	かわら版8月号編集 中岳134号編集会議

医 療 管 理 委 員 会

月 日	協 議 題
5 月25日	理事会報告、社保委員会より レセプト、カルテ記載について 妊婦健診について 医療苦情について、上通イベントについて
6 月30日	三歯会について 三歯会について スタッフ研修セミナーについて 9 月健康フェスティバルについて 国立病院機構熊本医療センターへの対応および医療連携の検討 医療相談について
7 月20日	(三歯会に出席)
7 月28日	技工士会、衛生士会、歯科医師会より、それぞれの意見交換行う H18.6～7 月まで16件の相談事例の報告

共済制度見直し検討臨時委員会

月 日	協 議 題
6 月28日	会費の値上げをせずに共済会計をまかなうにはどうすればよいか
7 月12日	本会共済制度の永続制及び給付金充実の方策について
8 月 2 日	会員間の平等性を保ちながら共済制度を確立することについて
8 月16日	答申案最終案作成

編 集 後 記

はれて6月から新しい県歯会館になりました。初めて訪れたときには、場所を間違ったのではないかと思い、何度も看板を見直しました。更に中に入ってびっくり！以前の面影など全くみられず、「すごい！」の一言しか思いつきませんでした。見かけ倒しにならないよう、一層の努力と協力が必要だなと思います。皆様もこぞって活発に利用しましょう。

(Y.O)

熊本市歯科医師会会誌

第 134 号

発行日 平成18年 9 月15日発行

発行所 社団法人熊本市歯科医師会

熊本市坪井 2 丁目 4 番 5 号

<http://www2s.biglobe.ne.jp/~kdc8020/>

[mail:kda8020@msg.biglobe.ne.jp](mailto:kda8020@msg.biglobe.ne.jp)

TEL (3 4 3) 6 6 6 9

FAX (3 4 4) 9 7 7 8

発行
責任者

古 賀 明

印刷所 コロニー印刷

熊本市二本木 3 丁目12-37

TEL096-353-1291 FAX096-353-1294